象牙質知覚過敏と Tooth Wear

近年、予防歯科概念が国民に広く認知されたため、う蝕と歯周病予防やホームケアにおける対策については急速に充実してきました。しかし、現状の日常生活の中においては、象牙質知覚過敏や Tooth Wear（酸蝕症・摩耗症・咬耗症）により、生活の質（QOL）が低下して日常生活に支障をきたし問題を生じることがある、ということが余り知られておらず、その予防対策についても認知が不足しています。Tooth Wear は、特に歯頸部、咬合面、切縁部などに生じやすく、その多くは生活習慣、特に嗜好品に関連した長期的な経過によって発生します。そのため、引き起こされる症状や原因を理解して、日常生活における予防対策を知り、行動変容を促すことが重要となります。一方、歯肉が退縮することによって歯根象牙質が露出し、知覚過敏を生じることがあります。このような象牙質知覚過敏を予防するためにも、リスク評価と適切な対処が必要になります。本セミナーでは、象牙質知覚過敏と Tooth Wear に関連する情報に合わせ、ホームケアでの対処法についてご説明いたします。

Haleon ジャパン株式会社
エキスパートセールス
（担当者氏名） 太田有里沙